

第25回
外国人による
日本語スピーチコンテスト

2016年2月6日（土）午後1：00～4：30
ところ／県民文化センター小ホール
主 催／公益財団法人茨城県国際交流協会
共 催／茨城県

* 茨城県議会議長賞

ダン トラン タオ ニー (ベトナム出身)

「カルチャーショックまみれの高校生活」

みなさん、こんにちは。ベトナムから来ました、ダン トラン タオ ニーです。日本に留学する前、私はよく日本のテレビ番組を見たり、日本人の友達と和食を食べに行ったりして、交流していました。だから、日本のことは自分なりによく知っているつもりでした。でも、実際に住んでみると、いまだに日本の何気ない文化の違いに大きなカルチャーショックを受けることがあります。今日は、私がこの日本の高校生活の中で、思わず「オーマイゴッド!!」と言ってしまった体験をいくつか紹介したいと思います。

今、通っている鹿島学園高等学校に最初に来たとき、もっとも衝撃を受けたのが高校の部活動です。ベトナムの学校の部活動はもっと気軽に参加するものです。でも、日本人にとっての部活動はただの時間つぶしではありません。もっと真剣に取り組むものです。特に、私の学校には運動部の生徒が多く、彼らは自分の時間とエネルギーをすべて部活に捧げています。そして、なんと、大変な練習の後、必ず大きな声でグラウンドに「ありがとうございました!」と頭を下げながら叫ぶのです。グラウンドにですよ! 彼らは毎日5-6時間グラウンドで汗や涙を流し、そのグラウンドを大切に、感謝するのです。これを目撃するたび、私は彼らを尊敬する一方、自分も「見習わないと!」と反省します。

また、こんなこともありました。私には小さな楽しみがあります。それはつい最近、食堂に新しく設置されたテレビです。でも、私はある時期、このテレビを見るのを避けていました。そう、夏です。日本では夏になると、怖いテレビ番組が本当に多いのです。「貞子」なんてしょっちゅう聞くし、もう怖くて安心して食堂のご飯が食べられなかったのを覚えています。なぜなのか、日本人の友達に理由を聞いてみたら「怖い話は夏の風物詩」だそうです。夏は暑いから怖い話を聞くと、ぞっとして涼しくなるのだそうです。確かによく考えてみると、夏には汗をかきますよね。それが、怖い話を聞くと「冷や汗」をかきます。精神的にヒヤッとなると、物理的にも自分の汗でヒヤッとなりますね。いや~、これはまさにベトナムにはない文化だと感心しました。きっと昔クーラーがない時代、こうやって涼しくなっていたのですね。ちなみに、みなさんは気づいていましたか? 女子高生がよく口にする「おまじない」という言葉を。女の子たちは好きな人と結ばれるために「おまじない」をかけます。でも、実は「お呪い」という漢字は「呪

い」という漢字と同じなのです。そう、彼女たちは好きな人に「呪い」をかけているのです。どうですか、みなさん、ヒヤッとしましたか？

このように、1年間日本にいても、いまだにまだ驚かされているのは、きっと私がまだ日本に慣れていないからなのでしょう。でも、この「慣れていない」ことが重要なのでは？と私は思うのです。少しずつ発展していたもの、変化していたものに私は気づけなくなっていました。それはベトナムでの生活に慣れ過ぎて何もかもが「当たり前」になっていたからでしょう。だから、久しぶりにお盆休みに帰ったときに、自分の故郷の変化に驚かされました。人はその環境に慣れれば慣れるほど、そして身近になればなるほど、その変化に気付けなくなってしまう。反対に、慣れていないこと、遠いものには好奇心を抱きます。だから私はこれからもこの日本に、この高校生活に慣れないで、もっと「オーマイゴッド！！」を感じながら日本を詳しく知っていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。